

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	細かな避難方法、地域との協力体制については取り決めがなく、検討が必要である。	常に、全職員が消火器などの消火設備の使用ができる。 避難方法の取り決めを行う。	毎月のGH会議や、夜勤者の出勤時に合わせて、消防訓練に参加した者が消火設備の使用法を伝える。消火設備や避難方法のマニュアルを作成し、全員がいつでも見ることが出来る場所に準備しておくようにする。毎月、定期的にマニュアルに目を通し確認印をもらう。	3ヶ月
2	10	ご家族への近況報告が定期的に行えていない。	入居者の生活状況や体調などをご家族の方に定期的にお知らせする機会をつくる。 ケース担当者の顔や名前を覚えて頂いたり、ご家族との関係を深めることに繋げていく。	各ケース担当者が“今月のお便り”として近況報告を書き請求書と一緒に(毎月15日前後)送付する。行事や普段の様子など雰囲気は伝わるように写真を同封するようにする。“今月のお便り”の他に、ご家族からの疑問や要望がないかを面会の時などにお聞きし、一方的な報告に終わらないように取り組んで行く。	6ヶ月
3	13	研修報告、内部研修ができていない。	研修報告、内部研修を行い職員のレベルアップにつなげていく。	研修報告は回覧し、確認印をもらう。今までの研修報告が自由に閲覧できるようにする。研修を受けた職員は、GH会議などの機会に、他の職員へ伝達研修を行うようにする。	6ヶ月
4	49	家族と出掛ける方もいるが個々の希望(馴染みの場所)にそった外出を増やしていきたい。	毎月、日にちを決めて出勤スタッフを増やし時間を気にせずに行きたい所へ行って頂けるようにする。遠出の場合は食事も外で食べて頂けるようにしていく。	ご家族の方へ個々の希望に沿った外出機会をつくりたい事を伝える。その際に、ご家族の付き添いや協力が可能か？費用負担が必要な時にも可能か確認をとる。付き添い者と費用の面で検討を重ね、可能となった時に日時を決めていくこととする。ご家族の付き添いや費用面で無理がある場合は、職員の対応で可能な所を検討していくようにする。出来るだけご家族の方にも加わって頂ける様に、お話ししていくようにする。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。